



編集発行
公益財団法人 **不老会**
〒460-0008
名古屋市中区栄
2丁目10-19
名古屋商工会議所内
9:00~12:00 13:00~17:00
土日祝休
電話 (052) 203-4580
FAX (052) 253-7123
ホームページ
<http://furo-kai.or.jp>



(不老会ホームページへ)

第五十二回 献体者顕彰式並びに 第四十二回 御名札納め式

令和八年五月八日(金)、名古屋市平和公園内「献体の塔」にて不老会関係者約二百八十名が集い執り行われました。

式辞

理事長 久野 格彦

薫風の大変心地よい季節となりました。本日ここ平和公園の高台にそびえる献体の塔にて「第五十二回献体者顕彰式並びに第四十二回御名札納め式」の式典を挙行するにあたり不老会を代表して謹んでご挨拶を申し上げます。

本日の式典は、ご遺族様をはじめ多くの方々にご参列をいただき式典が挙行で

きますことは不老会会員一同としてこの上ない喜びであります。

皆さまご案内のようにな老会の由来は、戦後最大の国家事業、愛知用水建設事業の推進過程で犠牲になられた五十六柱の御霊の慰霊鎮魂への思いから医学の発展に寄与する献体組織として昭和三十七年一月に設立されました。

以来今日まで医学・歯学教育の根幹をなす人体解剖と視覚に障害を持つ方々に光を差し上げる献体・献眼活動を展開してまいりました。

本日御名札をお納めするこの献体の塔は、多くの皆さんの善意に支えられて昭和六十年四月に建立され四十一年が経過したところであります。

不老会創立から今日までに登録会員総数は二万五千余名に達し、既に成願された会員の総数は一万二千二百三十三柱となりました。本日新たにご名札をお納めするのは二百五十五柱の御霊であります。

ここに成願者の献体・献眼のご意志を尊重しお支え下さったご遺族の深いご理解とご協力に対し、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

県内五大学の医学部・歯学部におかれましては、今日まで成願者の崇高な献体の志を無にすることなく手厚く迎え入れていただいた事に心より感謝を申し上げます。



杉浦副理事長

また先進的な医学・歯学医療の教育にも多大な成果をあげておられ、解剖教育の充実に取り組んでいただいている事に深く感謝申し上げます。今後より一層優れた医師や医療従事者の育成にご尽力されることを切望して止みません。

われわれ不老会員は、無条件無報酬の献体・献眼運動に一層真摯にとりくみ、医学・歯学の進歩・発展に寄与し、眼の不自由な方々に光をお届けし、世界の平和のために一人ひとりの力は小さくとも、互いに手を取り合って目的に向かって前進することをここにお願い申し上げます。

献体成就なされた先人の皆さん、どうか私達不老会の活動をこれからもあたたく見守りお導きください。

終わりに、ご遺族のご健勝と一万二千二百十三柱の御霊の安らかならんことをお祈りして式辞といたします。

顕彰のことば

愛知県知事 大村 秀章

公益財団法人不老会の第五十二回献体者顕彰式並びに第四十二回御名札納め式

が举行されるに当たり、謹んで顕彰のことばを申し上げます。

医学の進歩発展を願い、無償・無条件で献体をされ、本日「献体の塔」に御名札が納められます不老会物故会員の皆様の御遺徳をたたえらるとともに、その崇高なる精神に対しまして深く敬意を表します。

医学及び歯学教育における人体解剖実習は、今後の医療を担っていく学生が、医学の基礎である人体の構造と機能を学ぶために必要不可欠な場であるとともに、人間の尊厳、生命への畏敬の念を体得する極めて貴重な機会であります。

また、御遺体を用いた研修は、学生だ

けでなく、医師や歯科医師を始めとする医療従事者の技術向上にも資するものであり、医学の発展に大きな貢献となっております。

さらに、目の不自由な方々のために角膜を御提供いただくことにより、多くの方々が光と大きな喜びを取り戻すことができっております。

このように、献体により愛知県における医療の進歩・確保に大きく貢献していただいておりますことは、不老会会員の皆様並びに御遺族の皆様の深い御理解と御協力の賜物であり、ここに深く感謝を申し上げます。

最後に、これまで献体をされました物故会員の皆様の御冥福を心からお祈りいたしますとともに、今後、不老会の活動の輪が更に広がりますことを御祈念申し上げます、顕彰のことばといたします。

慰霊のことば

五大学代表
愛知学院大学歯学部長 本田 雅規

本日ここに、公益財団法人不老会関係



愛知県保健医療局技監 古川大祐様

者の皆様、ならびにご来賓各位のご臨席を賜り、第五十二回献体者顕彰式並びに第四十二回御名札納め式が厳粛に挙行されますにあたり、愛知県医科歯科系五大学を代表し、謹んで慰霊のことばを申し上げます。



愛知学院大学歯学部 長 本田雅規様

医学・歯学の教育は、人の命と尊厳を守る学びであり、その礎には、決して教科書や模型のみでは得ることのできない、人体そのものからの深い学びがございます。献体によるご教示は、学生にとって初めて命の重さに向き合う原点であり、専門職としての倫理観と責任感を

育む、かけがえのない教育そのものであります。

生前より不老会の趣旨にご賛同され、未来の医学・歯学を担う後進のために、ご自身の御身をもって道を示してくださいました皆様のご決断は、誠に尊く、また崇高なものであります。皆様のご厚意と覚悟により、数多くの学生が学びを深め、研究者が新たな知見を積み重ね、医療の質が着実に高められてまいりました。

不老会結成以来、医学や歯学の進歩発展を願い、人類の健康・福祉増進のため、自ら進んでご遺体を捧げられました方々は、一万二千二百十三柱となりました。

私も教育・研究に携わる者は、献体者お一人おひとりの人生と意思に、常に畏敬の念を抱きながら、そのお志を決して風化させることなく、誠実に教育と研究に取り組んでいかなければなりません。そのことこそが、皆様への何よりの感謝と追悼であると、深く心に刻んでおります。

ここに改めて、献体者ご霊前に深甚なる敬意と感謝を捧げますとともに、ご遺族並びに不老会関係者の皆様の長年にわたるご支援、ご理解に対し、心より御礼

申し上げます。

献体者の皆様、どうか安らかにお眠りください。皆様の尊いご遺志は、これからも医学・歯学の進むべき道を照らし続けてまいります。

以上、謹んで慰霊のことばといたします。

感謝のことば

五大学学生代表

愛知学院大学歯学部 森 美咲希

本日、第五十二回献体者顕彰式並びに第四十二回御名札納め式にあたり、愛知県医科歯科系五大学を代表いたしました感謝の言葉を述べさせていただきます。

解剖実習は、私たち学生にとって、ご献体と真摯に向き合い、医学・歯学の基礎である人体の構造を学び、医療従事者としての姿勢や高いモラルを育む、かけがえのない機会です。初めてご献体と対面させていただいた際、これまで経験したことのない空気に触れ、自然と緊張が高まるとともに、背筋が伸びるような思いがいたしました。医学・歯学の発展のために、見返りを求めずそのお身体を委



愛知学院大学歯学部学生 森 美咲希様

ねてくださったご遺志に触れ、深い敬意と感謝の念を抱くとともに、医療人としての責任の重さを自覚いたしました。実習期間中は、日々の予習と復習に取り組み、一つひとつの学びを確かなものとするよう努めてまいりました。解剖実習台の前に立つたびに、この学びが決して当然のものではないことを思い起こし、限られた時間の中で最大限に理解を深めるよう心がけてまいりました。

実習が進むにつれ、教科書の中で理解していた人体と、実際に目の前にあるお身体との違いを強く実感いたしました。

血管や神経の走行、臓器の形態には個人差があり、目にした一つひとつの違いが、その方の歩まれてきた時間の積み重ねのように感じられました。私が解剖させていただいたご献体には胃腸が造設されており、口から食事をとることが難しい時期を過ごされていたのではないかと想像しました。そのことに触れ、その方の生活や歩まれてきた経過に思いを致すとともに、人体の精緻さや奥深さを改めて実感いたしました。さらに、日々多様な患者様と向き合う医療従事者になるということ強く自覚いたしました。教科書で学ぶことの重要性に加え、実際に触れて学ぶことの意義を深く理解することができました。

この実習を通して、私が最も深く学ばせていただいたのは、医療従事者としてのあり方です。ご自身のお身体をもって私たちに学びの機会を与えてくださったそのご遺志は、他者のために尽くすという医療の原点を示してくださるものでした。実習の前後に捧げる黙祷の時間は、そのご遺志に心を向け、深く受け止めるとともに、その思いにお応えできる医療従事者となるよう、自らに誓いを立てる

大切な時間でした。本実習で得た学びと決意を胸に、今後も研鑽を重ね、医学・歯学の発展のために努めてまいります。最後になりましたが、ご献体してくださいました方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、深いご理解とご支援を賜りましたご遺族の皆様方、ならびに不老会の皆様方に厚く御礼申し上げます。感謝のことばとさせていただきます。



お礼のことば

遺族代表 牧 博之

本日は第五十二回献体者顕彰式並びに第四十二回御名札納め式を厳粛に挙行していただき深く感謝申し上げます。

令和七年度に成願された二百五十五名の献体者のもとより、遺族として、誠にありがとうございました。遺族を代表してお礼のことばを申し上げます。

父は昨年十月、八十六歳で旅立ちました。一年半ほど前に髄膜腫を発症し、良

性腫瘍ではあったものの進行が早く胸を圧迫し、家族としてはとても早いお別れとなっていました。

父には幼い頃、戦死した父の代わりに苦勞した事、ノリ養殖で体調を崩してから、電照菊の栽培農家になった事等、沢山の苦難の話を聞かされましたが、晩年は色々なお役などを機に出会った沢山の友達とゴルフ、カラオケ、グランドゴルフ、老人施設への慰問、神社や寺の世話役等、やりたい事はやったと、人生を振り返っていました。

特に不老会の出会いは大切な一つです。地区役員をやっていた時、藤田医科大学の医学生との交流では、とても頼もしく感じ、未来の医学の発展について目を輝かせながら話してくれた事は特に印象的でした。

今まさに、父の亡骸は、医学生の役に立つと喜び、順番を待っていることと思います。又、献眼した眼は、どなたかのお役に立っていることでしょう。

そのような父を誇りに思います。そして、人生の最後を穏やかに見つめ直す機会を頂いたこの不老会に感謝致します。最後になりましたが、本日ご臨席の皆様

様と、不老会会員皆様のご健康とご多幸を祈念して挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



遺族代表 牧博之様



玄室内御名札納め風景



献花



医学のおはなし

年齢を重ねると、高血圧や糖尿
病など、薬による治療が必要
な病氣と付き合う機会が増えて
きます。毎日何気なく飲んでい
る薬が、体の中でどのような運
命をたどるのかをご紹介します。
ます。

まず、口から飲み込まれた薬は胃を通り、小腸で吸収されます。薬によって「食前」「食後」など服用のタイミングが決められているのは、この吸収のされ方に違いがあるためです。例えば「食後に服用」と指示された薬は、食べ物と一緒にゆつくりと胃から小腸へ運ばれることで、ゆつくりと吸収されます。そのため、決められた服用のタイミングを守るのが大切です。

また、薬は水やぬるま湯で飲むのが基本です。飲み物や食べ物によって薬の効き方が変わる

ことがあからずです。一部の抗生物質は、牛乳に含まれるカルシウムや便秘薬に含まれるマグネシウムと結びついてしまい、十分に吸収されなくなることがあります。そのため、これらを一緒に摂らないよう注意が必要です。さらに有名なのがグレープフルーツです。花粉症の薬の中

小腸で吸収された薬は血液に乗って全身を巡り効果を発揮します。しかし、薬はもともと体の中には存在しない物質です。そのため体は薬を体外へ排出しようとします。その役割を担うのが肝臓です。肝臓は薬を排出しやすいかたちへと変えます。この働きを「代謝」といいます。と

の働きにも影響します。先程出てきた血圧を下げる薬や睡眠導入剤などでは薬が代謝されにくくなり、効果が強く出過ぎることがあります。肝臓に対するグレープフルーツの影響は薬の服用時間とグレープフルーツを食べる時間をずらしても避けられないため、摂取を控える必要があります。ただし、温州みかんはほとんど影響がないとされています。

最後に、葉は腎臓から尿として排泄されます。年齢とともに腎臓の働きは少しずつ低下するため、葉が体内に長く残り、効果や副作用が出やすくなります。1年に1度は健康診断を受けて腎機能を確認することも大切です。

薬は正しく使うことで十分な効果を發揮します。飲み方や食べ合わせについて疑問があれば、遠慮なく医師や薬剤師に相談してください。薬と上手に付き合いつつ、健康で快適な毎日を送っていきましょう。

からだの中をめぐる薬

藤田医科大学医学部

基盤医学講座解剖生理学

講師

石嶺久子

には、グレープフルーツやオレンジ、リンゴの果汁によって吸収が悪くなるものがあります。一方で、血圧を下げる薬の中には逆に吸収量が多くなり薬が効き過ぎてしまい、めまいや頭痛、動悸を引き起こしてしまうことがあるため注意しましょう。

ところが、喫煙や飲酒の習慣があると、この代謝を行う酵素が増えてしまうため、薬の効き目が弱くなることがあります。逆に禁煙や禁酒を始めると酵素が減り、今までと同じ量の薬でも効き過ぎてしまう場合があります。また、グレープフルーツは肝臓

公益財団法人不老会藤田医科大学部会会員の集いのお知らせ

このたび二〇二六年度会員の集いを左記のとおり、開催することとなりました。
部会会員の皆様方には、ご家族、お知り合いをお誘いの上、多数ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

日時 二〇二六年十月六日(火) 午前十時より
場所 藤田医科大学 大学二号館 六階

準備の都合上、誠に恐縮ですが、ご出席いただける場合には、ハガキに住所、氏名、会員の方は会員番号、会員の集い出席とご記入のうえ、九月十日(木)までに左記宛にお送りください。

《送付先》

〒四七〇―一一九二 豊明市杓掛町田楽ヶ窪一番地九八

藤田医科大学 大学事務局 医学部事務部総務課 不老会担当

藤田医科大学

医学部長

公益財団法人不老会

藤田医科大学部会長

廣瀬雄一
山本一義

公益財団法人不老会 藤田医科大学部会 会員各位

◎最初に医学講演会を予定しており、会員の集いは医学講演会が終了次第、開始致します。会員の集い終了後、本学学生との昼食懇談会を予定しております。

◎本案内をもって会員の皆様への通知に代えさせていただきます。

◎会場へのご案内(公共交通機関)

○名鉄前後駅から

・名鉄バス「藤田医科大学病院行き」、または「赤池駅(藤田医科大学病院・地下鉄徳重経由)行き」にご乗車ください。

○名古屋市営地下鉄各駅から

・桜通線 徳重駅から、名古屋市営バス「徳重十三系統」または名鉄バス「前後(藤田医科大学病院経由)行き」にご乗車ください。

・桜通線 鳴子北駅から、名古屋市営バス「鳴子十六系統」にご乗車ください。

・鶴舞線 原駅から、名古屋市営バス「徳重十三系統」にご乗車ください。

・鶴舞線 赤池駅から、名鉄バス「前後(藤田医科大学病院経由)行き」にご乗車ください。

○JR大高駅から
・名古屋市営バス「緑巡回」にご乗車ください。

※なお、当日午後二時よりフジタホール2000にて解剖体慰霊法要が執り行われる予定です。関係者には別途ご案内申し上げます。

公益財団法人不老会 名古屋市立大学会員のつどいのご案内

令和八年度の名古屋市立大学会員のつどいを左記のとおり開催いたしますので、市立大学に登録されている会員の皆様におかれましては、健康に充分ご留意の上ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日時 令和八年十月二十日(火) 午前十時三十分より
会場 名古屋市立大学本部棟四階ホール

●感染症予防のため換気等を十分に行った上で、健康講話および学生代表との会食・懇談を行います。

ご出席いただける方は、ハガキに「会員のつどい出席」と明記し、会員番号、住所、氏名を記入の上、十月九日(金)までに左記にお送り下さい。

〈送付先〉

〒四六七一八六〇一 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄一

名古屋市立大学医学研究科 統合解剖学分野気付

(財)不老会 名古屋市立大学部会

本案内をもって通知に代えさせていただきます。

なお、当日午後二時より「さくら講堂」において、令和八年度名古屋市立大学解剖感謝式が執り行われますことを併せてご案内申し上げます。

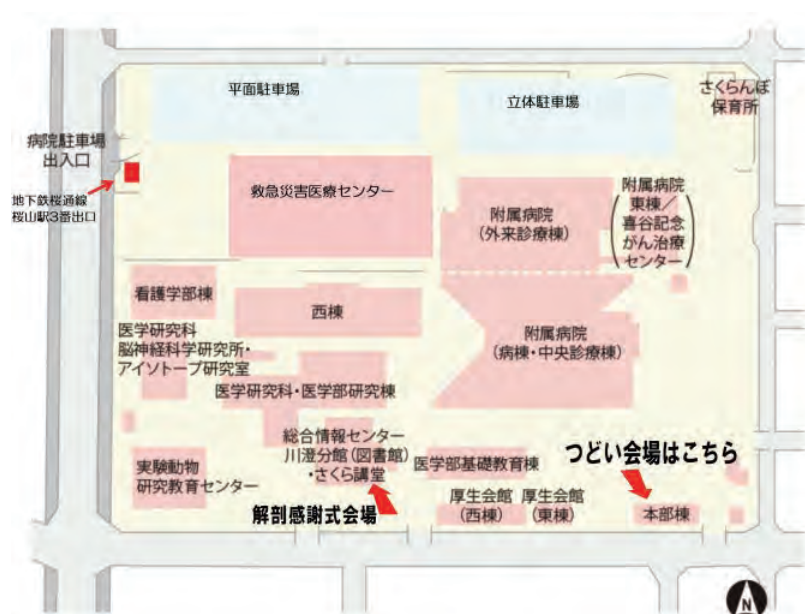
(公益財団法人) 不老会 会員各位

名古屋市立大学医学研究科長

片岡 洋望

不老会名古屋市立大学部会長

鈴木 慎吾



「名古屋大学不老会員の集い（講演会）」のお知らせ

令和八年度の「名古屋大学不老会員の集い（講演会）」を左記のとおり開催いたしますので、名古屋大学に登録されている会員の皆様におかれましては、ご家族、お知り合いをお誘いの上、多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

日時 十一月二十六日（木） 午前十時三十分から（受付 午前十時十五分から）
場所 覚王山日泰寺普門閣（本堂左側の建物）

（名古屋市中種区法王町）

地下鉄東山線「覚王山駅」下車徒歩十分

講演 「目の健康に大切なこと ～加齢変化と目の病気～」

講師 西口康二先生（名古屋大学大学院医学系研究科眼科学・教授）

会場は、本堂に向かって左側の建物となりますので、ご注意ください。医学部長、不老会理事長のご挨拶などに引き続き、西口康二先生による講演会を開催いたしますので、ご参集ください。

ご出席くださる方は、準備の都合もありますので、誠にお手数をお掛けしますが、ハガキに「会員の集い出席」と明記し、住所・氏名・会員番号をご記入の上、十月三十日（金）までに左記へお送り願います。お昼はお弁当を用意いたします。

なお、当日午後一時三十分から同寺にて、名古屋大学医学部解剖弔慰祭が執り行われますことを併せてご案内申し上げます。

（公益財団法人）不老会 会員各位

名古屋大学医学部長

勝野雅央

不老会名古屋大学部会長

杉浦康夫

〈送付先〉

〒四六六―八五〇

名古屋市中昭和区鶴舞町六五

名古屋大学医学部解剖学教室（献体事務室）

本案内をもって通知に代えさせていただきます。

役員新体制のご紹介（理事・幹事）

去る6月8日（月）定時評議員会終了後、不老会事務所にて臨時理事会が開催されました。理事長、副理事長及び常務理事の選定が行われました。

理議長	久野 格彦	（重任）	会の代表
副理事長	杉浦 康夫	（重任）	会の代表補佐 名古屋大学部会長
〃	山本 一義	（重任）	会の代表補佐 大学委員長 藤田医科大学部会長
常務理事	藤内美也子	（重任）	広報委員長 愛知医科大学部会長
〃	浅井 直樹	（重任）	組織委員会
〃	杉山 雄彦	（重任）	総務委員長
理事	田渡 英男	（重任）	
〃	早川 幸生	（重任）	
〃	金山 文雄	（重任）	
〃	田川 悦子	（重任）	愛知学院大学部会長
〃	鈴木 愼吾	（重任）	名古屋市立大学部会長
〃	久野 叔彦	（新任）	
〃	矢野 和宏	（新任）	
監事	小林 収	（重任）	
〃	堀 恭次	（重任）	

なお、役員の任期は次のとおりです。

理事：令和8年6月8日～令和10年度の最初の評議員会まで 2年

監事：令和8年6月8日～令和12年度の最初の評議員会まで 4年

地区代表者会議

去る三月十日（火）名古屋商工会議所ビル第四会議室にて開催されました。令和八年度事業計画書及び収支予算書、地区活動についての報告が行われました。

（事務局）

令和八年度第一回定時理事会

去る五月十九日（火）不老会事務所に開催されました。

- 一、令和七年度事業報告書（案）について
- 二、令和七年度計算書類（決算案）について
- 三、理事及び監事候補者推薦名簿（案）の決定について
- 四、令和八年度第一回定時評議員会の招集の決定について

以上四議案が原案のとおり承認されました。

（事務局）

令和八年度第一回定時評議員会

去る六月八日(月)名古屋商工会議所
ビル第三会議室にて開催されました。

一、令和七年度計算書類

(決算案)について

二、理事及び監事の

任期満了に伴う

選任の件について

の二議案が原案のとおり

承認されました。



(事務局)

令和八年度第二回臨時理事会

去る六月八日(月)定時評議員会終了
後、不老会事務所にて開催され、理事
長、副理事長及び常務理事の選定が行わ
れました。(前ページ参照)

(事務局)

令和八年度第一回五大学連絡協議会

去る七月十三日(月)名古屋商工会議
所ビル二階会議室に於いて開催しまし

た。各大学の現状と今後の課題について
意見交換をしました。

(事務局)

愛知医科大学不老会会員の集い
愛知医科大学医学部解剖慰霊祭

令和八年五月十一日(月)午前十時三
十分より、愛知医科大学不老会員の集い
が、医学部学生、不老会員合わせて百十
六名の参加のもと、覚王山日泰寺普門閣
にて開催されました。

ご成願された御霊に黙とうを捧げた

後、笠井謙次
医学部長、不
老会浅井直樹
常務理事のご
挨拶、医学部
二学年次谷口
茉詩さんの感
謝の言葉と続
きました。

続いて「敗
血症を乗り
越え、自分ら
しい人生を取
り戻すー早
期発見と集中



治療後症候群
(PICS)へ
の備えー」と題

して救急集中治
療医学講座渡邊
栄三教授にご講
演をいただきました。
敗血症とは感
染に對し自分
自身の身体の
反応が自らの組
織や臓器を傷害
することです。
生命に関わる状態であり、早期発見、
早期治療が必要なことを学びました。さ
らに解剖学講座の内藤宗和教授から講
座の現状や学生さんの様子などのお話
しがありました。

その後昼食を摂りながらの懇談会へ
と移り、学生さんたちと親しくお話しを
しながら昼食を楽しみ、来年もお元気で
お会い出来ることを願って閉会となり
ました。

同日午後二時から、日泰寺本堂にお
いて、ご遺族、不老会員参加のうえ、盛
大かつ厳粛に解剖慰霊祭が執り行われ
ました。

(広報 藤内美也子)



愛知学院大学不老会会員の集い 愛知学院大学解剖慰霊祭及び返骨式

令和八年六月二十六

日(金)午前十時三十

分より楠元キャンパス

講堂にて、愛知学院大

学会員の集い・講演会

が「新時代の歯科審美

意識に対応した包括的

口腔管理戦略」と題

し、歯学部保存修復学講座教授 辻本暁

正先生にご講演いただきました。

Q、世界で最も蔓延している

慢性疾患は？

A、う蝕(虫歯)です。

Q、日本一虫歯の患者が多い県は？

A、愛知県です。

八〇二〇運動で健口人口を伸ばすに

は、一日二回の歯磨、う蝕病変を早期発

見し再石灰化を促し健康な歯を保つた

めの予防管理と定期管理を心掛け、最小

限の修復処置で「交換」ではなく「修理」

とする虫歯管理を行い「生涯を通じて自



分の歯で食

べる」こと

が大事と教

えていただ

きました。

その後、歯

学部基礎教

育棟一階談

話室に会場

を移し学生

さんとの懇

談を楽しみ

ました。ま

た、午後一

時三〇分よ

りは楠元キャンパス講堂に於いて、第六

十四回解剖慰霊祭がご遺族・会員参加

のもと厳粛に執り行われ、引き続き返骨

式が粛々と行われました。

(広報 藤内美也子)



地域地区集い開催報告

● 西尾市地区会員の集い

四月二十五日(土) 西尾市総合福祉センターで開催しました。西尾市長 中村健様をお迎えして、令和七年度活動報告等、令和八年度事業計画等及び役員の選任等全て承認を得ました。その後、フルート奏者 鳥山ひろみ氏による「聞いて笑顔、歌って元気」、会員 杉浦克子氏による民謡を披露していただき盛況で楽しいひと時を過ごしました。出席者三十二名

(代表 長谷達士)

● 一宮市地区会員の集い

五月二十一日(木) iビル(一宮駅ビル二階大会議室)で開催しました。朝から雨模様の中、三十一名の方々にご出席いただきました。

(代表 矢野和宏)



● 豊田・みよし地区会員の集い

五月三十一日(日) 豊田市青少年センター交流室にて開催しました。

小林地区代表による現状報告と意見交換後、「とよたMケアの会」秋山 聖さんによる歌唱、リズム 体操など、健康維持のための楽しい時間を過ごしました。出席者は返信ハガキでは二十五名でしたが、直前に不都合電話が相次いで結局二十名になり、うち男はわずか三名でした。

(代表 小林収)

● 知多市地区会員の集い



今年も六月六日に、会場じろきん本店にて、四十一名集い、来賓者の祝辞に続いて本部浅井直樹常務理事より高齢者夫婦の生活実態と終末時の対処の方法など、切実なる内容のお話は大変参考になりました。

(代表 竹内司)

● 西区地区会員の集い

六月七日(日) 西生涯学習センターで開催しました。本部丹羽事務長の質疑応答後、アトラクションは、社会人落語チャンピオン 南遊亭栄歌さんの落語を楽しみました。出席者二十五名

(代表 石原百合香)

● 岡崎地区会員の集い

六月一八日(木) 岡崎市役所会議室にて四十六名にて開催しました。来賓

として岡崎市福祉部長から、日頃会員の取り組みに感謝の挨拶をいただきました。また市長・衆議院議員からの祝辞を拝聴した。その後①本部作成動画「未来につづく志の絆」を放映②入会体験発表「僕の人生」・「私の入会のきっかけ」③健康体操「首のストレッチ」の実



技をした。休憩を挟んで、七ブロックに分かれて参加者間交流により、不献体防止のための日頃感じた事を気楽に会話でき、無事閉会した。

(代表 宮田大治郎)

● 大府・東浦地区の集い



六月二十六日(金) 大府市役所地下会議室で開催しました。朝から雨で足元が悪い中、二十名の方にご参加いただきました。来賓の大府市長岡村秀人様からご挨拶をいただき、地区の動向等の話の後、アトラクションで鈴木バイオリン小野田社長と平松優公子さんのデュエットによるバイオリン演奏を鑑賞し楽しいひと時を過ごしました。

(代表 大橋高秋)

会 員 投 稿



大府・東浦地区 野村 悦子

チベットの旅

僧籍(浄土宗西山深草派)を取得してから、以前にも増して仏教絡みの本を好んで読んでいます。今までアジアの多くの仏跡に足を運んだ。インドやネパールを訪問した時も、ヒマラヤ山脈の向こう側が気になっていた。

自身の経験から高所順応に減法弱い体質なので、今まで二の足をふんでいたが、昨夏一念発起してチベットを訪れることにした。



平山郁夫画・チベットの旅より

ラサの街の中心部は標高三六五八m、シンボルのポタラ宮は、そこから百十七mの高さにある。富士山の頂上とほぼ同じ高さだ。ラサの中心部にある大昭寺(ジヨカン寺)は、チベット仏教で最大の寺院。ご本尊は「釈迦牟尼像」文成公主が六四一年にチベット王のリンツァン・ガンポに嫁ぐ際に持参してきた十二歳の釈迦像だそう。チベット人にとって生涯に一度は巡礼したいという精神的な拠り所である。正門広場では人々が熱心に五体投地をしている。ラサの酸素濃度は約三分の二程度、私は携帯用の酸素缶を持ち歩きながらも貪欲に目に入るものを、全て脳裏にたたき込

うと行動した。

私がチベットに興味を抱いた理由に もう一つ鳥葬があった。鳥葬の起源は明確ではないが、八世紀にチベットで完成された「四部医典(医学書)」には鳥葬が記載されている。当時は鳥葬と呼ばず、鳥(ハゲワシ)に食わせて天に葬ったからである。これは仏教の「輪廻転生」の教義から、魂の抜けた肉体は不要とみなされ、他の生命(鳥)への布施として捧げられるのである。人間は生きる為に他の生命を奪ってきているので、死後を鳥に与えることで前世の罪を洗い流す意味合いもあるとか。又、医学書故に解剖の所見で人の死因を定める目的も兼ねていたと、古い記録も残されているようだ。めったやたらに人の身体を切り刻んだのではなく、それはひとつの解剖所見でもあったようだ。

現在もチベットでの弔いは、鳥葬が日常的である。手順はまず僧侶を招いて三日間読経し、故人の魂の解放を促す。次に吉日を選んで白い布に包まれた遺体をトラックに乗せ、お寺のまわりを三回

まわり、街からそう遠くない丘の上に運ぶ。そしてドムデン(屍体切斷人・鳥葬師)が現れ、斧で屍体を切り刻む。すでに上空にはハゲワシが何十羽と集まって旋回している。ドムデンが去ると一斉に群がり、屍体は跡かたもなくなるのである。

鳥葬：…まことに野蛮な印象を与えるが、これは深い宗教的動機から出ている。チベットの人々は、霊魂が去った抜けがらの肉体が、死後あとかたもなく消えさることを願っているのである。ドムデン達が、屍体の中に何か異常なものを見つけた場合には、死因を知りたがっている親族や、関心をもっている医師達に報告することはあるようだ。この鳥葬に要する費用(葬儀代)は三〇〇〇元(約六万円)だそうだ。

現在チベットでは鳥葬がほとんどだそう。ならば鳥葬以外に何があるかと聞いたら、他に「塔葬」「火葬」「土葬」「水葬」「風葬」があるという。

*塔葬
ダライ・ラマなどの高僧の時に用いられる。遺体をミイラにして塔の中に納める。

*火葬
主に僧侶などの高位の人に用いられ

る。火葬後のお骨を粘土に混ぜて仏像をつくる。火葬は、樹木の育ちにくい環境のチベット(ラサ三六五八m)では、薪は貴重なので限られた人だけのものになる。

*土葬
犯罪者や自殺者は、土葬する。土葬にすれば、生まれ変わることができないとし、「輪廻転生」をさせないのである。期間は五〇〇年。

*水葬
経済的な困窮者(鳥葬代の払えない人)に対して行われる。遺体をバラバラにして川に流す。赤ん坊は、木の容器に入れて川に流す。川辺に専用の水葬場が設けられていた。

*風葬
チベットの一部の少数民族の間で行われている。遺体を風通しの良い木の上に括り付ける。まさに風化で一番安上がり。

一九五九年中国共産党軍の電撃侵攻を受けチベット人民百二十万人が犠牲になり、チベット全土が中国領土に併合。チベットの自治や文化が否定され、ラサの街はどんどん中国化(漢民族化)され、以前のラサとは様変わりしていると聞かされた。

ラサの郊外の野原は、コスモスの花が咲きほこっていた。大昭寺につながる街

道で、巡礼達を見つけ思わずホッとした。彼等はチベットの各地から何ヶ月もかけて、乾いた大地を埃まみれになり、一心不乱に五体投地を繰り返し、聖地を目指してやってくるのだ。

貧富を問わず、全ての人が一点の疑いも差しはさまず、ひたすら帰依没入して寺院を訪れ、ささやかな供え物を捧げて祝福を願う。これほどひとつの宗教に帰依し生きようと心がけている民衆は他に類を見ないであろう。

何百年も続く文化や伝統は、簡単に覆せるものではない。改めてチベット仏教の奥深さを知った思いである。

ホテルの窓からながめるラサの夕暮れ、ハスの花の形の白い街路灯の光、以前は六〇〇〇余あった寺院は、現在はずか一ダース？ わずか十日間の短い旅であったが、「チヨモランマの水」を飲みながら、平和とは……を考えさせられた日々であった。

オン・マニ・ペメ・フム(真言)

中村区地区 杉山 雄彦

先人達のご苦勞を偲んでウォーキング

日時：令和8年5月23日(土)

場所：愛知池（東郷調整池）

今回は愛知池へ行きました。新緑のシーズン、まさに緑一色、くもり空でありましたが、風もなく、暑くもなくゆったりと歩くことができました。

何せ高齢者（70歳～90歳まで）ばかりでしたが、予定のコースを全員完歩することができました。

ネパールのボカラ出身の人のカレーハウスでランチメニューのナンをいただき、黒笹駅で解散しました。

（幹事 杉山雄彦）



ありがとう

老会成願者から角膜の提供をうけ、光を取り戻した方々からお礼状が事務局に届きました。

○滋賀県 宇野 典子 様
○名古屋 小島 由美 様
○清須市 佐藤 弘子 様
○静岡県 吹上 延子 様
○弥富市 吉川 良一 様

献体の塔 清掃報告

令和八年四月二十八日(火)、朝から暑いぐらいの晴天のもと、知多・名古屋ブロックの方々を中心にして総勢十五名の方々にご奉仕をいただきました。五月八日の顕彰式に向けて、塔内部の清掃、広場の草取り、階段の落葉を掃き、最後に田渡英男理事の挨拶後散会しました。ご奉仕に感謝申し上げます。

(代表 鈴木慎吾)



献体の塔清掃奉仕作業のお願い

- 一、担 当 美濃ブロック、名古屋ブロック
- 二、日 時 9月17日(木) 午前10時(雨天中止)
- 三、集 合 名古屋市平和公園 献体の塔前広場

○帽子、タオル、飲み物などを用意してご参加ください。

○ブロックに関係なくどなたでもご参加ください。

○参加者は全て勤労奉仕とします。

お知らせ

不老会事務所の夏季お休み 8月11日(火)～8月16日(日)

安心できる葬儀 (052)251-9296

家族葬・少人数の葬儀、自宅・寺院・教会での葬儀、
献体のお問い合わせ等ご相談ください。

病院・施設等から直接いちやなぎ斎場へ いちやなぎ中央斎場 名古屋市千種区千種二丁目19番1号 地下鉄桜通線「吹上駅」⑥番出口より西へ700m
いちやなぎ野並斎場 名古屋市天白区野並三丁目538番1号 地下鉄桜通線「鳴子北駅」②番出口より西へすぐ



株式
会社

一柳葬具總本店

365日・24時間受付

ISO 9001

品質マネジメントシステムの国際規格
JQA-QM4191